



IFA住宅設計室通信

innovation.future.architects

料金後納

ゆうメール

枚方を中心に、「建築家と建てる家づくり」を提案する IFA 住宅設計室。
次世代へ受け継がれる家づくりを目指して活動を続けています。
そんな私たちの目線で、家や暮らしにまつわる様々な情報や、スタッフの
日常を綴ります。家づくりへの想いをお客様と共有できることを願って。

vol 91
Aug. 2024

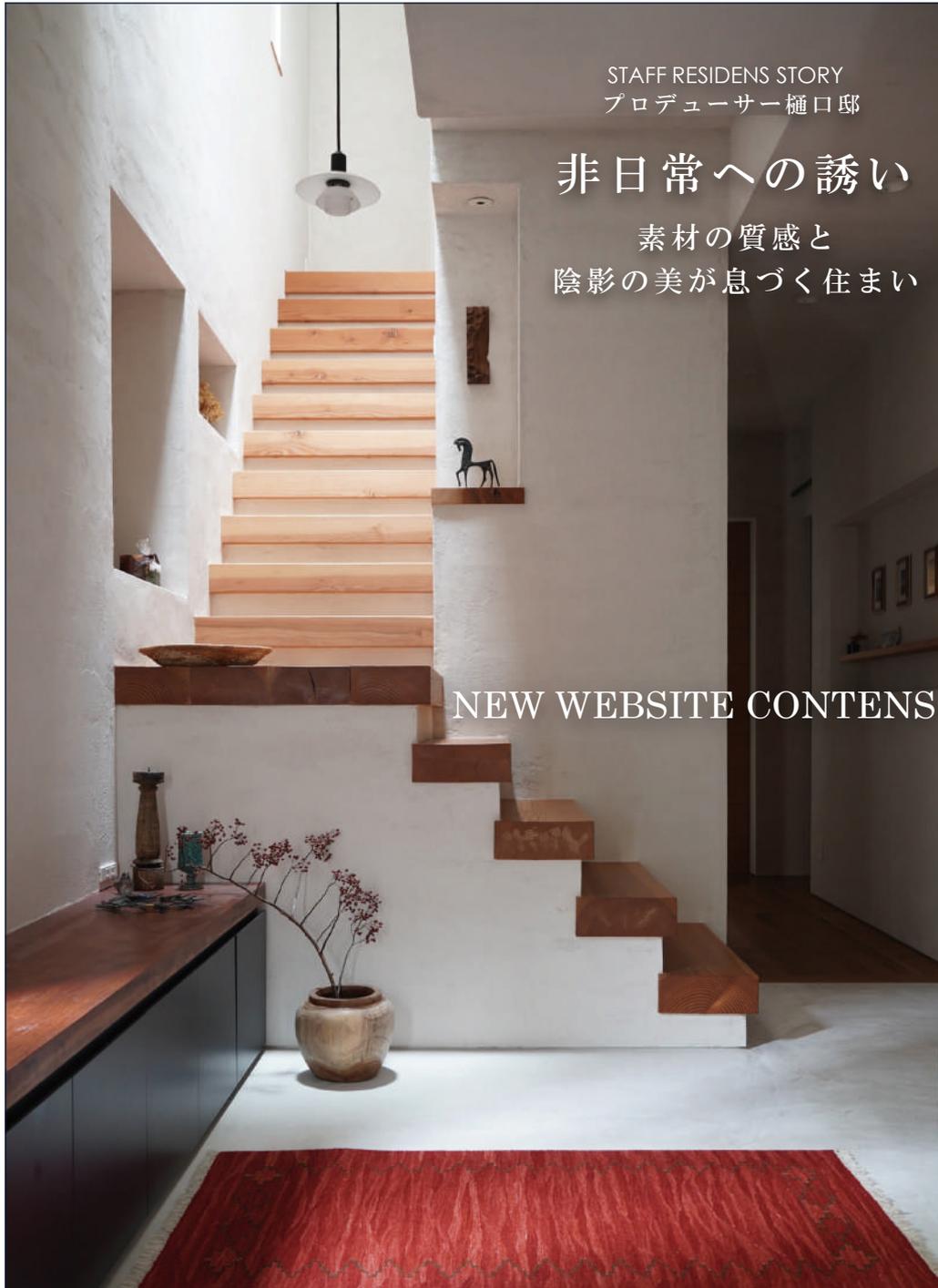
contents

家づくりの現場から
楠葉の平屋

レポート
意賀美神社 茅の輪づくり

建築家エッセイ
ヴェネチア・風の丘葬祭場

スタッフコラム 他



STAFF RESIDENS STORY
プロデューサー樋口邸

非日常への誘い 素材の質感と 陰影の美が息づく住まい

NEW WEBSITE CONTENTS

NEW CONTENTS

スタッフの自邸が できるまでの物語

WEBサイトの新企画として「IFA
スタッフの家づくり」が始まりました。
これまでもブログやWORKSにてご
紹介しておりましたが、改めてIFAで
家づくりを行ったスタッフの自邸を
訪れ、家づくり当時の思い出や今の
暮らしについて掘り下げて紹介して
います。第一回目は、築40年の祖父母
の家をリノベーションしたプロデュー
サー樋口の自邸を訪れました。奥様
にも撮影とインタビューにご協力い
ただき、奥様目線での住み心地も語っ
ていただいております。スタッフなら
では家づくりのプロセスをご覧い
ただけると幸いです。

この他にも、お施主様の家づくりス
トーリーや映像コンテンツ等を新た
に掲載しています。家づくりの参考
にご覧いただけましたら幸いです。



MOVIE

-家と暮らしの映像-



STORY

-アウトドアリビングと暮らす家-



STORY

-畔に住む-

近日
公開

IFA 住宅設計室の
公式 WEB サイトにて
ご覧いただけます
右記QR コードよりアクセス▶



楠葉の平屋

Case | 所有する土地を活用して、新築注文住宅を建てる

現居宅に住みながら、その南側の庭に新居を建てた後、現居宅を解体して庭へと入れ替える計画とした、北庭のある平屋の住まいです。北庭方向以外の面は居室や水回りのヴォリュームでコの字型に配置し、それらに囲まれた暮らしの場は家のどこからでもアクセスが可能であり、南の高窓から光を採り入れ、北の大きな開口で庭と繋がる空間構成としています。

そこに半島のように独立した小上がりの畳敷きを設けており、その3辺と中央の掘り座卓に腰掛けられ、対面キッチンに面したダイニングカウンターとしても使用するため、椅子やソファなどの家具を必要としません。〈座るモノ〉が床であり家具であるという特有の畳敷きであるなら、ここに集まり〈座るコト〉が家族固有のライフスタイルに繋がると考えています。



竹内 美穂+加藤 純

一級建築士事務所 作人
近畿大学 理工学部 建築学科 卒業。第11回 岐阜あかりのオブジェ展、入選。第26回 日新建築設計競技、佳作。第7回 ユニオン造形デザイン賞、入選。



お施様のご厚意により

**完成見学会
開催予定！**

9月末~10月中旬

詳細は決まり次第、
WEBサイト・各SNSにて公開を
予定しています。

お施様との出会いは2012年にIFAが開催した渡辺篤史氏講演会にお越しいただいたことから始まります。当時から将来、所有される敷地を売却し、その資金でご自宅の建替えをしたいと考えておられました。所有地が広がったこともあり、周辺環境をはじめ様々な事情により長期的な計画となりましたが、その間にもIFAの見学会や作品展など様々なイベントに足を運んでくださり、建築家との家づくりのイメージを膨らませておられました。時を経て条件が整い、本格的に家づくりをスタート。不動産の活用・売却からプロデューサー樋口が提案させていただき、設計は作人が手掛けました。見学会開催の際はぜひ実際の空間をご体感ください。(中井)

多様な家づくりの選択肢を不動産からご相談いただけます

- “建築視点の”不動産探し 土地・中古戸建て・マンション
- 大切なものを、大切に住み継いでくれる人へ譲る不動産売却
- 未来に向けてより良い豊かな暮らしをご提案する不動産活用

詳しくは公式WEBサイトをご覧ください

意賀美神社 茅の輪づくり

先日、IFAのお施様とのご縁で、意賀美神社さんでの祭事に用いる茅の輪の製作をお手伝いする機会をいただきました。神事の裏側を垣間見る貴重な機会となり、人生の大先輩方のご指導の下、早朝より清々しい汗を流すことができました。茅の輪づくりは近隣で葦を刈る作業から始まり、その後、境内へ移動して円型の土台に葦を巻き付けるというのが大まかな流れです。青々と艶のある綺麗な葦を寄って束ね、男結びと呼ばれる結び方で括り付けるのですが、これがなかなか難しい。要領を得ず、四苦八苦しながらも完成した姿はなかなかの迫力で、充実感がありました。参拝客の方々にも喜んでいただけたのではないのでしょうか。



樋口 真司

取締役ブランドマネージャー／プロデューサー
校方高校、神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科修士課程修了。大手セネコン建築設計部にて対企業向けの設計活動に従事。人が住まう家づくりに憧れてIFA住宅設計室へ。



ヴェネツィアのオーバーツーリズム対策

京都ではコロナ禍前からオーバーツーリズムが問題になっているが、特にここ数年酷い。世界的観光地イタリア・ヴェネツィアも例外ではなく、今年の4月に実際に訪れてみたが、観光客が多すぎて少しがっかりする。ヴェネツィアはオーバーツーリズム対策として、4月25日から7月14日までの主に週末計29日間、試験的に日帰り客から入島税5ユーロを徴収した。結果は計45万人が入島税を支払い徴収総額は当初予想の3倍、人の流れは例年とほぼ変わらなかったという。観光客数抑制になっていないことから市は入島税の値上げも検討しているらしい。京都も改善を急がないと街の魅力が失われ、結果、観光客が来なくなる…それもまたいいかもしれない。



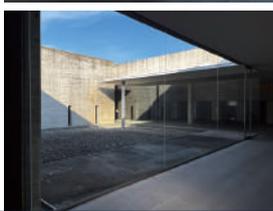
真島 元之

一級建築士 / 真島元之建築設計事務所
大阪立大学工学部建築学科卒業。京都工芸繊維大学大学院工学研究科建築学専攻修了。Team ZOO いるか設計集団を経て、1995年現事務所設立。



告別の丘、最期の空間

一風の丘葬祭場 大分県中津市 設計: 楨文彦一



自身の最期の場所について考えたことはあるでしょうか。どんな場所で最期の別れをするのか。「風の丘葬祭場」は、広大な丘陵地に埋まるように、あるいは大地から隆起したかのように建っています。この建物は空間構成、特にランドスケープを含めた繋ぎの空間が秀逸です。今年の6月に逝去された建築家楨文彦氏の代表作です。最初に訪れる車寄せの正面には緑豊かな前庭、その横を大地の重力に身体をゆだねるように下っていく緩やかなスロープ、その先にはトップライトのあるエントランスポーチから告別室、そしてその奥には外界とは隔絶されたコンクリートに囲まれた中庭が現れます。前庭とは対照的な中庭、その正面に炉室が控えます。それぞれの空間では周到に選別された自然光により厳粛な静けさが漂います。儀式的流れに寄り添う空間の配列。この世でもあの世でもない不確かな空間と時間の流れ。その流れの途上で参列者の覚悟と追悼の時間が用意されているのです。帰る場所への道標としての静謐な建築。静かに心震え祈る建築。私はこういう場所で最期を迎えたいと思いました。



井上 昌彦

一級建築士 / L.V.M 建築設計事務所
京都工芸繊維大学住環境学科卒業後、1990年に事務所設立。京都府立大学、京都精華大学非常勤講師。

IFAの建築家によるエッセイです。毎日の中にあるちょっとした数々の出来事…建築家の目線で見ると、どのような風景に映るのでしょか。

STAFF Column

スタッフの日常を綴るリレーコラム!



森田 直紀

メンテナンス事業部
広島県出身。広島にあるグループ会社・廿日市家具製作所から2022年よりIFA住宅設計室に移籍。家族の支えもあり、単身赴任で頑張っています。

こんにちは。メンテナンス事業部の森田と申します。日々、メンテナンス及び小工事におきまして、お施主様皆様には大変お世話になっております。私が枚方に来てもうすぐ3年になります。今は仕事にも少し慣れ、IFAスタッフや関係業者の皆さんの助けをもらいながら忙しい日々を送っています。家族は広島に妻と長男(中2)長女(小6)次男(小3)が居ます。広島では家に帰ると家族5人で大騒ぎの毎日でしたが、単身赴任は静かな毎日です。そんな私のひとり時間の過ごし方は時代小説を読む事です。子どもに絵本を読んでいた頃が懐かしくもありますが、今は自分の趣味で読書をしています。もう少しラインナップに富んでいれば良いのですが、私の本棚は司馬遼太郎さん作品ばかりです。

きっかけは7年前、父に「映画を見に行くから付き合え」と誘われた、枚方市出身・超ひらパー兄さんこと岡田准一さんが石田三成を演じた「関ヶ原」でした。史実としては「？」ですが、ヒロインの初芽を演じる有村架純さんのファンになったのもこの作品

です。見終ると何か圧倒されたものを感じ、すごく面白い！と学生時代には無かった感情が芽生え、そこから司馬遼太郎さんの時代小説を読むようになりました。広島に居た時は遠かったのですが、ここは枚方。京都にも大阪にも近く、舞台になった様々な場所が溢れています。仕事を頑張りがら、休日には色々な史跡を巡ろうと思います。



▲写真 森田の本棚。紙面都合で写真が小さくなってしまったので、左上からタイトルを一部抜粋。[龍馬がゆく][翔ぶが如く][燃えよ剣][新選組血風録][国盗り物語][おれは権現][真説宮本武蔵][播磨灘物語][北斗の人][戦雲の夢][功名が辻][新書太閤記][豊臣家の人々][関ヶ原][軍師二人][城塞][覇王の家][現代長編文芸全集司馬遼太郎1 妖怪 酔って候]他

第10回 天の川ゆめのほしフェスタ

ゆめのほしフェスタ2024

去る7月の土曜日、こどもゆめのほしプロジェクトと協同で天の川ゆめのほしフェスタを開催しました。今年は枚方市の七夕祭りや枚方宿ジャズストリートとタイアップし、「七夕前夜祭」と銘打って実施。音楽ステージが復活し、俳優川崎麻世氏のスペシャルステージ、ジャズバンドや枚方なぎさ高校吹奏楽部の演奏が会場を盛り上げました。またお施主様のご協力を得て、プロジェクションマッピングにも挑戦。ジャズの生演奏をBGMに、ランタンフロートと共に関の川面を幻想的に彩りました。過去最大の来場数となり大盛況の中、終了することができました。わずかですがイベント当日の様子を写真でご紹介いたします。



社長 Column

みなさま、こんにちは。まだまだ暑さの厳しい日が続きますが、体調を崩されておられませんでしょうか。あまりの暑さが原因でしょうか、我が家のエアコンが主寝室に続き、息子の部屋のエアコンも潰れてしまい、息子は冷気を求め家庭内放浪しております。現場でも室内が熱気に覆われることから、熱中症対策としてスポットクーラーを導入し、活躍しております。子供の頃は、朝と夕方は窓を開けると、夏とはいえ涼しい風が家の中を通り抜け、夏のおいを感じた記憶がありますが、最近は窓もほとんど締めっきり、エアコンに頼った生活になっております。住宅の高気密高断熱化を図り、Co2削減を目指す、国の政策もよいですが、軒の出を深く、敢えて雨どいを付けずに涼を感じることができる造りなど、何か抜本的に涼しさを感じることができる家づくりはないものかと、建築家と議論している今日この頃です。

話は変わりますが、最近、嫌な話といい話がありました。嫌な話は、お施主様より実家に来てほしいとのことで何うと、一人暮らしのお母さんが掘込み駐車場の防水工事に、500万円以上支払ってしまったというご相談でした。もうすでに工事も終了し、支払いも済ましておられたため、私にできることは何もなくありませんでしたが、ある日、ポストに投函されていた塗替え工事のチラシを見て、電話をしてみたそうで、何十回にも分かれた請求書を見せていただきました。肝心の駐車場の防水はできておらず、お母さんの寂しそうな顔を見ると、怒りがこみ上げてきました。その業者はすでに存在しておらず、社名もコロコロ変えているような会社のようにです。真面目にコツコツ、



谷口 大介

代表取締役・プロデューサー
枚方市香里ヶ丘在住。中央大学文学部英米文学科出身、大阪経済大学大学院経営学研究科修士課程修了。2022年8月よりIFA住宅設計室代表取締役に就任。

地元で家づくりに取組んでいる我々としては、非常に悲しい出来事でした。この文章を読んでいる皆様は、同じように騙されてしまうことはないかと思いますが、お身内の方で、外壁や屋根の劣化等について知らない業者から連絡があった場合は、まず、IFAにご相談ください。無駄足になっても構いません。

いい話は、地元の剣道の教え子が稽古中に私のところに寄ってきて、「僕は大きくなったら、先生の会社に入りたいと思います。」と唐突に言ってくれました。何をきっかけにそうしてくれたのか…とても嬉しく、温かい気持ちになりました。それと同時にもっとちゃんとせねばと、身が引き締まる思いになりました。IFAでは毎年、枚方第四中学校の職業体験の受け入れを行っています。今年は10名ほどの生徒さんが体験に来てくれます。地元密着で、好きな仕事を楽しくやっている会社の雰囲気が伝わればと思っています。

最後になりますが、11月17日(日)にIFAお客様感謝祭を開催いたします。今年も実行委員長は服部が担当し、企画を進めています。IFAの事を紹介したいというお友達もお誘いいただきまして、ぜひお越しください。心よりお待ちしております。



一日頃の感謝の想いをこめて

IFAお客様感謝祭・開催

イベント詳細は10月中頃発送の招待状にてご案内いたします。

ひとりで
よろこび。



次の世代へ受け継がれる家づくりを。
株式会社 IFA住宅設計室
大阪府知事許可建設業(般-5)第122036号 / 一級建築士事務所(特)第20706号

ギャラリー
〒573-0048 大阪府枚方市山之上西町27-30
TEL.072-846-1225 FAX.072-846-1226

枚方T-SITE 6階・7階 IFA 建築作品ギャラリー
〒573-0032 大阪府枚方市岡東町 12-2

工事部・倉庫
〒573-0064 大阪府枚方市北中振 1-2-5

建築家と家づくりするための不動産専門店
株式会社 楽園不動産



<http://www.ifainc.jp>

大阪府知事(特)第54601号
〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町1-1-10
TEL 072-845-0001 FAX 072-845-0003

<http://raku-en.jp>

「建築家と家をつくる」をもっと身近に。

建築家と建てる注文住宅の設計、施工
マンション・一戸建てのリノベーション工事の設計、施工
土地・中古物件情報をご紹介

お問い合わせは **0120-556-327** はこちら

IFA住宅設計通信は、IFAで家づくりをしていただいたお客様、イベント等でアンケートにご記入いただいたお客様に送付しております。ご不要な場合は上記連絡先まで、ご連絡いただけますようお願いいたします。

IFA住宅設計通信 発行：株式会社 IFA住宅設計室